

どんぐり祭

先週金曜日、どんぐり祭が無事行われました。今日はその舞台発表についてお話をします。学年演技、どの学年も特色を出してとても良かったです。

7年生の群読「S w i m m y」はこんな群読のやり方があるのか？とその脚本に感心しました。セリフのテンポもよく、声もよく出ていました。7年生の一所懸命がしっかり伝わった学年演技でした。

8年生の演劇「鬼物語」は馴染みのある昔話をアレンジしてくれていたので、小学生にも分かりやすい内容で、ナイスチョイスだったと思います。そして、他人を表向きや噂だけで判断してはいけないという大切なことを教えてくれました。後、背景がとても素晴らしいかったです。

9年生の演劇「人間になりたがった猫」は俳優の演技も脚本もさすが9年生といえる内容でした。俳優の声もよく出ていたし、最初はやや難しいかな？と思えた脚本を見事に消化し、観客をどんどん物語の世界に引き込んでくれました。下級生に素晴らしい見本を見せてくださいました。

吹奏楽部や有志演技も含め、演技を終えて達成感を感じることができたでしょうか？もし、感じることができたのであれば大成功です。達成感が大きいと自然に涙まで出でます。今回のどんぐり祭の演技を終えて思わず涙が出た人、あるいは出そうになった人がいるかもしれませんね。たった1日・一瞬の達成感を得るために日々努力を積み重ねることこそが、自分を好きになる、自分を認める、自己肯定感を高める大きな原動力となり、人生を豊かにしていきます。校長先生はそう考えて、自分がクラス担任の時代には、何としても文化祭のクラス演技で学年トップをとり、クラスの子供たちに達成感を感じさせるんだ！と必死になったことを思い出しました。

是非、卒業式の日に達成感を感じられるような中学校生活をおくってください。